

# 2022年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース			教科担任	
外国語	英語コミュニケーション I	3	1年次			甲斐匡倫・紙田 清・石橋 拓	
使用教科書	ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I (東京書籍)		使用副教材	ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION I WORKBOOK (東京書籍) Database 3000 (桐原書店)			
科目の目標				道徳教育のねらい			
日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、 1 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。				1 言語活動による他者との関わりを通じて、互いの立場や考えを尊重しながら伝え合う力やコミュニケーションを図ろうとする積極的な態度を養う。 2 単元の題材を通じて、世の中の様々な事象に関心を持ち、積極的に関わる姿勢を養う。			
市函DP (本校で身に付けさせたい6つの資質・能力)							
学習活動内容		1	2	3	4	5	6
		主体的学習力	基礎力	思考・分析力	発信・表現力	自他認知・協働力	計画実行力
1	授業 (リスニング・大意把握)		○	○			
2	授業 (リーディング・情報整理)		○	○			
3	授業 (リプロダクション・要約)			○	○		
4	授業 (ペア活動・グループ活動)	○				○	
5	パフォーマンステスト (スピーキング)			○	○		
6	パフォーマンステスト (ライティング)			○	○		
7	多読	○				○	
8	提出物	○					○
9	小テスト	○	○				
10	課題確認テスト	○	○				○
11	定期考査		○	○	○	○	○
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	[知識] 学習した言語材料の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、一定の支援のもと文章等を聞く、読む、書く、または話す技能を身に付けている。(40%程度)		コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、一定の支援のもと、日常的または社会的な話題について聞く、読む、書く、または話すことができる。 (40%程度)		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的に聞く、読む、書く、または話そうとしている。 (20%程度)		
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。						
		授業での取組	課題への取組	実技テスト	小テスト	課題確認テスト	定期考査
	知識・技能	○		○	◎	◎	○
思考・判断・表現	○		◎	○		◎	
主体的に学習に取り組む態度	○	◎	○				

# 英語コミュニケーション I 授業計画

授 業 計 画					実 施 状 況	
月 (時 数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前 期	4	UNIT 1(11)	1秒間に世界がどのように変化しているかについて学ぶ。	受け身・不定詞・動名詞 聞き直す・回答する		
	5	単語テスト開始 (毎週) UNIT 2(10)	さまざまな国や地域で信じられている迷信について学ぶ。	助動詞+受け身・現在完了進行形 驚く・興味や関心を表す		
	6	前期中間考査 第1回模擬試験に向けて 既習事項の振り返り 速読・リスニング開始 (毎週)				
	7	UNIT 4(11)	ハワイ語やハワイ文化の歴史について学ぶ。	現在完了の受け身形・過去完了形 迷いを伝える・アドバイスする		
	8	UNIT 3(10)	ゴミに関する問題やゼロウェイスト政策について学ぶ。	分詞の形容詞的用法・関係代名詞 誘う・断る		
	9	前期期末考査  UNIT 5(11)	自分の体験を聞き手に語る際の秘訣を学ぶ。	SVOC・関係副詞how・ 助動詞過去形 心配事を伝える・援助を申し出る		
	10	UNIT 6(10)	優れたリーダーシップをもつ人物の経歴を学ぶ。	分詞構文・関係副詞where・when 返答する・相づちを打つ		
	11	第2回模擬試験に向けて 後期中間考査				
	12	GTECに向けて				
後 期	1	UNIT 7(10) 第3回模擬試験に向けて	今住んでいる場所を選んだ理由やそこでの暮らしの魅力を学ぶ。	原形不定詞・仮定法過去完了・ 過去完了進行形 反論する・同意する		
	2	UNIT 8(11) 後期期末考査	世界のさまざまな成人の儀式について学ぶ。	関係代名詞what・非制限用法 習慣を表す・共感する		
	3	プレゼンテーション	1年間の総まとめとしてプレゼンテーションを行う。			